

櫻守の会

2020年9月号

2020年9月1日(通巻256号)

発行：櫻守の会代表 近藤 茂

〒665-08 宝塚市栄町3-4-10-505

会員数 113名(8月25日現在)

HP：<https://www.sakuramori.net/>

わが母の記

水本 誠二

「あッ雨だ！」ふっと耳を澄ますとサワサワと音がする。窓を開けるといつの間にか降り出した雨が木の葉をやさしく濡らしている。夜に降る静かな雨だ。静かな夜の雨には、特別な匂いがある。それが土の匂いと混ざり合い微香を放つ、自然の神秘さということだろうか。

さて戦後の混乱期、昭和21年 私は長い人生のスタートを切った。遊び盛りの頃はモノのない状態であったため遊び道具など最初から無いに等しかったが、周囲の自然がすべて遊び場であった。身近にある木や竹の棒を腰にさせばチャンバラごっこ、山に入って探検ごっこ、竹トンボ作りに竹をしならせて弓作り、杉の実鉄砲に水鉄砲作り等々、全て自然の材料で賄っていた。いい時代が懐かしい。現在の世間一般では「去る者は日々に疎し、目から去れば心から去る。」のであろうが、こうした通り相場も同じ環境で育った幼なじみとの関係は風化しない。みんなお互い様同士で育ってきたのだから。

一昨年、母が百十歳で他界した。いずれこうした日が来ることは解っていても、いざこうなると無性に涙が溢れた。斎場での待合室で昭和一桁生まれの姉が、過ぎ去りし日々を思い起こしながら一言呟いた。「このお母さんがいたからこそ、今日の私たちがあるんだからね」と。多分姉は母のうしろ姿を最も知るだけに、去来する戦中・戦後の食糧・物資の乏しい時代を思い起こしていたに違いない。幸い農家であったので、米や野菜はあるにせよ毎日の子供たちの弁当作りや洗濯だけでも大変だったのに、母は昼は農作業に精を出し、夜は夜なべ仕事で五人の子全員のセーターを繕い、「いつ休むのか、体は大丈夫だろうか」と心配したものだ。人を憎まず、自慢せず、高ぶらず、相手を不愉快にさせない、目立たず、でしゃばらず、風呂敷のような包容力がある人であると思うから、余計涙が止まらなかった。オヤジの時は涙の一片も出なかったのに。

詩人の萩原朔太郎の「父親は永遠に孤独な存在である」という言葉が浮かんで来た。

良寛和尚の句 “散る桜 残る桜も 散る桜”

永六輔さんの著書のなかの「“生きている”ことは誰かに借りをつくること。“生きていくこと”はその借りを返してゆくこと。誰かに借りたら誰かに返そう。誰かにそうしてもらったように、誰かにそうしてあげよう。」の言葉を胸に、里山作業をしながらハイカーから受ける「ご苦労様です」「有難うございます」といった感謝の言葉に無上の爽快さを感じつつ、気力・体力の続く限りこの里山活動に参加したいと思う。

不肖男の戯言と思って、ご容赦の程お願い申し上げます。



8月7日 キツネノカミソリ(麩線敷)

今年は株が増えて多くの花が咲きました

***** 目次 *****

- P1 序文：わが母の記 & 目次
- P2 2020年7月度～8月度活動実績表、活動報告
- P2～4 活動報告：桜の園(亦楽山荘)、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森
- P4～6 お知らせ・案内：運営委員会報告、刈払い機講習会、麩線敷草刈り、樹木調査見学の案内
桜の園標識類リニューアル、会員消息、武庫川エコハイク
- P7～8 櫻守ひろば：「笹部新太郎氏と亦楽山荘」、会員紹介
- P8 会員投稿、活動予定(9月・10月)

＜ 2020年8月度 活動実績表 ＞

2020年8月度

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
7月25日 (土)	桜の園 (亦楽山荘)	雨	活動中止	
7月29日 (水)	青葉台 15名	曇 時々晴	(光が丘ルート) 枯れコナラ2本伐採、園路脇のシダと枝刈取り	8
			(陽光広場) 最奥部と100m堰堤上斜面と下平坦面の草刈り、常緑低灌木の除伐	7
8月2日 (日)	武庫山の森 25名	曇のち 晴	(塩谷ルート) 東斜面植樹地の草刈り	12
			(武庫山ルート) 階段の設置、杉板による土留め試験施工	7
			(園路全般) 樹名板の設置	6
8月5日 (水)	桜の園 (亦楽山荘) 24名 (2)	晴	(赤松道・つつじヶ丘) 枯れサクラ、ヤシヤブシ伐採…写真1	6
			(赤松道・ビューポイント) 園路補修、プラ階段設置	3
			(遠見の道) 園路周辺の整備、登山口にプラ階段、土留め設置	9
			(さくらの道・東屋近辺) 土留め用蛇籠の設置	6
8月7日 (金)	廃線敷 24名	曇 時々晴	廃線敷宝塚市管理範囲全域の石垣面も含め、草刈り・落下枝処理	24
8月11日 (火)	ゆずり葉の森 14名	晴	(コバノミツバツツジの丘/ゆずり葉ピーク) 園路周辺の中小枯木伐採処理	4
			(コバノミツバツツジの丘) 笹刈り、ツツジの剪定	10
8月13日 (木)	桜の園 (亦楽山荘) 16名	晴	(さくらの道・東屋近辺) 土留め用蛇籠の設置…写真2	7
			(桜坂下部) 草刈り	4
			(遠見の道) 登山口部分の園路修復:土留め、プラ階段設置	5
8月15日 (土)	武庫山の森 16名	晴	(ピオトープ上側) 植樹地の草刈り	4
			(武庫山ルート東側広場) 笹刈り、フェンスのツル除去	6
			(中央ルート) 階段の設置	4
			(入り口広場) ベンチの作成、草刈り	2
8月18日 (火)	山手台 20名	晴	(南斜面活動地北側フェンス際) 草刈り、オオキンケイギクの抜取り	7
			(桜の谷西側斜面) 草刈り、常緑低木伐採	7
			(園路整備) 路肩補修、腐った階段の取替え、園路脇の低木・ササの伐採	6
延べ参加者数				154

＜ 活動報告 ＞

桜の園 (亦楽山荘)

坂田 敬



写真1 赤松道園路脇
枯れサクラ切株 (8/5)

7月25日(土)は雨のため中止。8月5日(水)、13日(木)の2回の活動でしたが2日間とも茹だるような暑さの中大汗をかきながらの作業でした。両日とも少し早め(2:00終礼)に作業を終了しました。

途中何度も休憩を取りながらのプラ階段、チェーンソーなど重い資機材の赤松道上部へ担



写真2 東屋下 蛇籠積み (8/13)

ぎ上げ(8/5)、蛇籠設置のための石採集と運搬(8/5・13)等、皆さん大変な頑張りでした。遠見の道の登山道入り口(倉庫脇)周辺は永い間手を付けていなかったために大分荒れていましたが、園路脇に土留め板を取り付け、路面を均したので歩きやすくなりました。(8/13)

青葉台

7月29日(水) 曇り時々晴れ 参加者：15名

加賀野久生



7/29 100m堰堤上斜面で草刈

雨上がり後で参加者が少ないのではと心配しましたが、平均的な参加者となりました。高温多湿で大汗をかきながら以下の作業を行いました。陽光広場では前回やり残しとなった最奥部と100m堰堤上斜面並びに下平坦面の草刈を、光が丘ルートではやや大径の枯れコナラ2本の伐採と、園路脇のシダと枝の刈取りを行いました。枯れコナラ



7/29 光が丘ルート伐採木の玉切り

伐採時に伐採木がチルホール牽引作業者の近くに倒れるヒヤリハットがあつた。運営委員会で再発防止対策を討議し、対策の全員徹底を進めています。

ゆずり葉の森

8月11日(火) 晴れ 参加者：14名

加賀野久生



8/11 ゆずり葉ピーク急斜面の
枯れ松伐採

先週から猛暑、高温多湿の真夏日が続いたためか、参加者は通常の2/3程度と少なめで、当初予定の3班から2班に減らして作業を行った。1班はコバノミツバツツジの丘で園路脇の笹を鎌、刈込鋏で刈り取り、回廊内は刈払い機2台と鎌で笹と低木を刈り取った。他班はコバノミツバツツジの丘からゆずり葉ピーク間の園路周辺の松4本、コナラ2本等中サイズの枯れ木7



8/11 広いコバノミツバツツジ
回廊内の草刈

本をオオノコとロープで処理した。中でもゆずり葉ピーク下の枯れ松は重心が谷側に向いており、掛かり木となって後処理が出来なくなる懸念があつたが、慎重に伐倒方向を討議しロープで牽引しながら首尾よく狭い園路上に倒すことが出来た。高温多湿下での作業は疲労が激しく、予定より約30分早く作業を終えた。

山手台

岡 敏明

今日は暑い日となったので、なるべく木陰での作業を選択するとともに午前中で活動を終えた。

また今日は活動地内だけでなく、南斜面上のフェンス外側(道路際)の草刈りも刈払機を使用して行った。(8/18)



南斜面上部 フェンス際の草刈り後



杉板による土留めの試験施工

長い梅雨が明け蒸し暑さと強い日差しの中での作業でした。塩谷ルート東側斜面の植樹地の草刈りを刈払機と手刈りで行いました。武庫山ルートにプラ階段を設置してこのルートの急な所の階段設置を終えました。また杉板による土留めの試験施工をしました。樹名板設置を作業班にして34枚取り付けました(8/2)。真夏



アカマツへの樹名板設置

の猛暑の中、ビオトープ上側の植樹地の草刈り、武庫山ルート東側広場の笹刈りとフェンスのツルを除去しました。中央ルートにプラ階段を設置しました。入り口広場のベンチを修理しました。今回は午前中で作業を終えお弁当を食べて解散しました。(8/15)。

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (7月度)

代表 近藤 茂

2020年7月30日(火) 10:00~12:00 ふらぎこむ1 24会議室

1. 新型コロナウイルス対応・・・最近感染者数が増えているが、直ちに活動を休止しなければならない状況でないため、会の活動を当面継続する。但し下記のケースに該当した時は、活動を再休止する。
 - 1) 行政から新しい指示が出た時。
 - 2) 活動に参加している会員の中で、感染者が出た時。→ →活動に参加している会員で感染が判明した時は、近藤茂までご連絡ください。個人情報に配慮した上で、適切な対応を行います。
2. 会報スタイルの変更：“櫻守ひろば”の充実について
 - 1) 会員の皆さんに知っておいてほしい情報は、「情報回覧板」として掲載する。・・・メール会員の方はURLのリンクをクリックして閲覧することができます。
 - 2) 会員からの投稿記事は、できたら投稿者本人の氏名を書いてもらう。ペンネームでも可。
3. ひょうご森の日イベント(10~11月中旬)・・・多くの一般市民の方に参加していただけるような企画(例：桜の園のモミジ狩り)をしてはどうか、との意見があった。来年度に向けてしっかり検討する。
4. 総会の返信ハガキで提案された事項について討議した。

提案3：実生サクラを見つけると周囲を皆伐する傾向がある。もっと生物多様性に配慮すべきでないか。

討議内容と結論：実生サクラの育成の方法について審議を行ったが、結論に至らず継続審議とした。

いずれにしても「会員の皆さんが植物についてもっと知識を増やす」ことが大切であり、樹木調査・自然観察会・楽植会などに参加して、植物に関心を持つように心がけることを希望します。
5. 大径木の伐木作業時の安全確保について

最近、大径木(直径52cmの枯れコナラ)をチーム員共同で伐木作業を行った時に、予定外の方向に木が倒れてヒヤリとする事例があった。安全対策として、下記の対応をすることを確認した。

 - 1) 伐倒方向、足場の確保等の事前確認をチーム員全員で行う。新入会員への教育にもなる。
 - 2) 無理な伐木をしない。止めた方が良く判断した時は、行政に伐木を依頼する。
 - 3) 労働安全衛生規則に則り、十分な退避距離を確保する。
6. 刈払機講習会・・・7月28日に講習会を行い、6名に認定書を交付した。

刈払い機講習会の報告

加賀野久生

当初は本年最初の廃線敷草刈（6月2・火）に間に合うよう5月22日で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染対応緊急事態宣言が5月末まで伸びたため、止む無く下記の通り実施しました。

日時・場所：7月28日（火）9：30～12：30 於いて 武庫山の森

受講者：6名（山下康さん、森本理さん、社納隆博さん、阪口潤一さん、谷口正巳さん、藤本正雄さん）

講師：加賀野、坂田

内容：座学（刈払い機の構造、基本動作と安全上注意等）1.5時間

実習（回転刃の取り付け等準備、平面刈、斜面刈、後片付け）1.5時間



7/28 広場で刈払い機の説明

最初は全員こわごわ刈払い機をゆっくり振っておられましたが、少しずつ動作の硬さが取れて来ました。しかし刃を石等に当てまいとして高い位置で振られることが多い段階でした。受講者は全員8月から活動で刈払い機を使うことができます。会員の皆様も6名が積極的に刈払い機を使い、慣れて頂けるようご協力よろしくお願い致します。



7/28 平坦面での刈払い実習

廃線敷草刈

加賀野久生

8月7日（金）曇り時々晴れ

参加者：24名（含む体験参加1名）

今年は梅雨明けが例年より約2週間遅く7月28日だったため、猛暑への体の順応が手探り状態で参加者が少ないのではと心配していましたが24名と例年通りの参加者となりました。例年通り長い作業範囲を4つに分け、更に4区間の草木の生育面積と成長度を考慮して、区間への刈払い機と人の投入数を前回から変更して作業しました。猛暑に近い暑さの中での作業とあって全員が相当疲労困憊された様子でしたが前回より短時間で無事全域の草刈ができ、見晴らしがよく安心して散策して頂ける状態となりました。本当にお疲れ様でした。



（作業前）



（作業後）

8/7 廃線敷入口合流部

桜の園（亦楽山荘）樹木調査見学のご案内

岡 敏明

亦楽山荘での樹木調査を昨年9月より12名のメンバーで実施しています。冬場は葉が落ちて樹種名確定が困難なため調査を休止しましたが、その後も4月・5月は新型コロナの影響で、6月・7月は雨の影響で調査は停滞しています。それでも内周路と廃線跡の調査を終え、今は外周路に取り掛かっています。9月は下記予定で行いますので、調査の見学に参加されませんか。調査メンバーに関わらずどなたでも結構です。いろいろな樹木を一緒に覚えましょう。

- ・予定日：9月14日（月）、9月22日（祝・火）
- ・親水広場9：30集合、14時頃解散予定
- ・持ち物：弁当、飲み物、筆記用具

桜の園（亦楽山荘）園内の標識類がリニューアルされました

事務局

桜の園・亦楽山荘の園内に、多くの標識類がありますが、下記の様な不具合がありました。

- ① 園内案内板・・・エントランスと隔水亭前の2ヶ所に開園当時(1999年)に作成されたものがあつたが、木枠が腐食すると共に記載内容が現状と合わなくなっていた。
- ② 道標・・・園内約15ヶ所に開園当時に設置された木製道標があつたが、大部分が腐食で無くなっていた。
- ③ 園路地図板・・・2012年に県の助成金を受けて園内12カ所に設置したが、危険で閉鎖した園路や新しく拓いた園路があつて、実情に合わなくなっていた。

そこで、宝塚市公園河川課に上記標識類の主な原稿データを提供して新規作成を依頼して来ましたが、この度すべての標識類がリニューアルされました。予想していた以上の出来栄で、来園した皆さんにも満足していただけるものと思っています。今回の標識類はすべて金属と対候性プラスチックで出来ていて、長期間の使用が可能であると共に、データが実情と合わなくなった場合は表層のシートを貼り替えるだけで、最新版に更新できるものです。これらの標識類を作成していただいた宝塚市に改めて御礼申し上げます。



園内案内板エントランス広場に設置



道標 園内の14ヶ所に設置



園路地図板 園内12ヶ所の地図を貼替

会員消息

事務局

入会：辻本 孝さん、清水厚真さん、田中利則さんの3名です。
皆さん今後ともよろしくお願いたします。

8月25日現在会員数 113名

武庫川エコハイク 第159回「長尾川から神戸ルーツパーク」 エコグループ武庫川

今回は有馬川の支流長尾川流域を歩きます。豊かな自然の中にある太陽と緑の道を歩き「花と果実のテーマパーク」を訪ねます

★お願い：マスク着用で「三密状態」を防止する活動にご協力願います

日時：2020年9月12日（土） 雨天中止

集合：神戸電鉄「道場駅」改札口前 9時30分

ルート：神鉄「道場駅」前～長尾川～善入川～太陽と緑の道～光山寺～★神戸ルーツパーク道の駅～太陽と緑の道～鹿の台～神鉄「道場南口駅」

◆約16km 健脚向き(標高差150m) ★印：一次解散場所約11km(バスで岡場駅へ)

解散：16時頃 神戸電鉄「道場南口駅」

＊お問合せ：エコグループ・武庫川 携帯 090-7763-6763 (上田)

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/> (武庫川エコハイクで検索)

< 櫻守ひろば >

笹部新太郎氏と亦楽山荘 (3) 笹部氏の業績 (1913~32) (26~45 歳) 助走期

近藤 茂

大学卒業後、就職をせずに多くの政財界の人々と交友関係を築いた時期である。また全国のサクラを見て、サクラに対する考え方を纏めて研究を始めるまでの大切な時期でもある。亦楽山荘に通い始めたのが 39 歳ころである事から、大器晩成であったと言えよう。



大正 13 年
(37 歳)
梅子夫人と

武田尾の亦
楽山荘にて



(年表)

1914 年 (大 3)	27 歳	犬養 毅に師事し、全国の演説会場を回る
1917 年 (大 6)	30 歳	(渋沢栄一、後藤新平らが「東京さくらの会」を発足 帝国ホテル)
1919 年 (大 8) 頃	32 歳	能島進氏 (電通社長) から全国全線パスをもらう 能島氏の西国三十三ヶ所巡りに同行、全国の桜を見て回る
1920 年 (大 9)	33 歳	梅子 (旧庄内藩酒井家一門 酒井忠崇の長女) と結婚
192 年 (大 10)	34 歳	兄 栄太郎 死去 新太郎氏が家督を相続
1926 年 (昭元)	39 歳	この頃より武田尾の演習林に通い始める
1926 年 (昭 3)	41 歳	本格的に演習林の整備を始める 霞滝の下方に小亭 (初代隔水亭) 作る ※1936 年に大雨で流出
1929 年 (昭 4)	42 歳	武田尾の演習林を「亦楽山荘」と命名 この頃桜の植樹を始める 霞滝の横上に納屋 (現在の隔水亭) と物置を作る

会員紹介 谷口 正己さん

私は昭和 33 年に鳥取県赤碕町 (現:琴浦町) で生まれ自然の中で育ちました。現在の居住地 (神戸市東灘区) には 18 年前に転勤で来て、そのまま定住してしまいました。「櫻守の会」への入会のきっかけは、昨年 11 月に定年になり何か近所で自然の中での活動を探していました。何回かの体験活動を通して、自分でも続けられそうと思いい入会させていただきました。私は自然の中で過ごすことが大変好きで、大学時代にワンダーフォーゲル部で全国の野山に親しみ、会社時代は転勤で各地に住みそこでも自然を楽しみました。現在も東灘区を中心に野山や川、海と広く楽しんでます。また、場所 (灘五郷) がら酒蔵も多く冬場を中心に利き酒も楽しんでおります。また、小説「櫻守」との出会いは、近所の岡本南公園 (櫻守公園: 旧笹部新太郎邸跡) であり、西宮の白鹿記念酒造博物館での笹部新太郎展でもありました。武田尾からの遊歩道は 4 年前に初めて歩きました。まだまだ、経験の少ない若造ではありますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



【事務局より】

これまで新入会員の方の自己紹介文を掲載してきましたが、会員の皆さんから「名前と顔がうまく結びつかない」とのご意見が多く寄せられていました。その対応として今後は「ご本から了解を得られた場合は上半身の写真を掲載する」ことにしました。

— 会員投稿 —

猛暑でシエスタを取るセミも多い？

私の育った田舎は兵庫県の標高 300m の山間の町。最初にニイニイゼミが鳴き始め、盛夏はミンミンゼミとアブラゼミ、夕暮れはヒグラシ、お盆を過ぎるとツクツクボウシ、夏の中でも季節の移りを感じられた。今は、昔は聞かなかったクマゼミのけたたましい鳴き声にたたき起こされる。猛暑のせい、日中はシエスタを取るセミが多くなったような感じがする。

情緒まで薄れていく……………。

瀧本浩一

つもりちがいの 10 カ条 (明治の先人作)

- | | | | |
|----------------|----|-----------------|----|
| 1. 高い つもりで低いのが | 教養 | 2. 低い つもりで高いのが | 気位 |
| 3. 深い つもりで浅いのが | 知識 | 4. 浅い つもりで深いのが | 欲望 |
| 5. 厚い つもりで薄いのが | 人情 | 6. 薄い つもりで厚いのが | 面皮 |
| 7. 強い つもりで弱いのが | 根性 | 8. 弱い つもりで強いのが | 自我 |
| 9. 多い つもりで少いのが | 分別 | 10. 少い つもりで多いのが | 無駄 |

●そのつもりで頑張りましょう

太郎兵衛

< 活動予定 (9月・10月) >

月別行事予定表

9月		場所等	10月		場所等
9月4日	金	桜の園 (亦楽山荘)	10月1日	木	桜の園 (亦楽山荘)
9月6日	日	武庫山の森	10月4日	日	武庫山の森
9月8日	火	ゆずり葉の森	10月7日	水	ゆずり葉の森
9月10日	木	桜の園 (亦楽山荘)	10月9日	金	廃線敷草刈り
9月15日	火	山手台	10月12日	月	自然観察会
9月19日	土	武庫山の森	10月14日	水	桜の園 (亦楽山荘)
9月23日	水	青葉台	10月16日	金	廃線敷草刈り予備日
9月26日	土	桜の園 (亦楽山荘)	10月17日	土	武庫山の森
9月30日	水	会報印刷 (ふらざこむ)	10月20日	火	山手台
			10月24日	土	桜の園 (亦楽山荘)
			10月28日	水	青葉台
			10月30日	金	会報印刷

集合時間 : 桜の園 (亦楽山荘) 親水広場 9時 50 分、武庫山の森 9時 50 分、他の 3 活動地は 9時 30 分。
 天候 : 当日朝 6時 55 分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率が 60% 以上の時は中止します。

<編集後記>

今年は『コロナ禍』の中でたくさんのお話生まれた『特別な年』になりました。いっぱい時間があつたのに、自分的には語れる成果もなく、気付けばもう 9 月です。『危険な暑さ』もやっと打ち止め、一息つける季節となりました。『Go To トラベル』もせめて一回くらいはやっておきたいものと思っています。たとえ『第 2 波、第 3 波』が来ようとも恐れ過ぎず、油断せず。半年以上も勉強してきたのですから…『ニューノーマル』に戸惑うことなくボランティア活動に励みましょう。

※<櫻守ひろば>への皆さんの寄稿文をお待ちしています。(近藤代表までメールで) (山岡)